

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【 学校評価計画書 】

堺市立 五箇荘中 学校
校長 中辻 幸男

中学校区におけるめざす子ども像 個性を伸ばすとともに、自らを律し他を思いやることのできる子

令和7年度 重点目標 対話的な活動をふまえ、あらゆる場面でICTの効果的な活用をすすめ 学びあい 高めあう授業 みとめあう集団作り をめざす

※五箇荘学校群の目標「自ら学びに向かい 自ら取り組み 自ら表現できる子どもの育成」に向けて取り組む

「確かな学び」の現状

- ・基本的な学習習慣や基礎的な学力を身につけている生徒の割合は高いが、自ら進んで学習に取り組んだり、自分で課題を持って学習するという「主体的」な姿勢の育成と自らの考えを表現したりお互いのコミュニケーションをとっていくことが課題の一つである。
- ・これまでの取り組みの中で、自分の考えを書くなどの「対話的」な学習を取り入れるように努めており成果が表れているが、ICTを活用するなど効果的に実践し、個別最適で生徒がより深い学びができるように取り組む必要がある。

「豊かな心・健やかな体」の現状

- ・道徳の授業や人権教育等を日常の活動により結び付けられることが大切である。
- ・教科授業、学校行事、生徒会、部活動など、あらゆる教育活動の中で、生徒の自尊感情・自己肯定感を高めることがよりいっそうできるよう集団づくりをすすめる必要がある。
- ・「運動習慣の確立に向けた体育の授業内容の工夫」「運動部活動の運営の工夫」、「望ましい生活習慣、食習慣を確立する取組」を進め、運動に親しむ生徒が増えるように努めるとともに健康のための体づくりと食育について取り組むことが大切である。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組、★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗	達成状況(年度末)	
								自己評価	学校関係者評価
確かな学び	授業規律と授業改善	静謐な学習環境の確立と重点目標達成の実現をめざした授業改善。	●チャイム着席を行い、授業中、静謐な学習環境のもとで学びの雰囲気醸成する	学校アンケートによる肯定率80%以上	授業観察等 学校アンケート	12月			
			生徒が家庭学習に取り組むように指導する。	アンケートによる肯定率80%以上	学校アンケート等	12月			
			校内授業研究を行うなど、教職員の積極的な相互授業参観などとおして授業改善に取り組む	アンケートによる肯定率が80%以上	授業観察等	12月			
		「主体的」・「対話的」・「深い学び」の実現、「子どもが自ら学びを進める授業」をめざした取り組みを行う	●★授業において、必ず考えなどを書く場面や自ら表現する場面を取り入れる。また主体的に学習に取り組む態度を身につけさせる。 ●★ICTを活用するなど指導方法・教材等の工夫改善と発表、話し合い活動、グループ学習を取り入れた授業の実践や個別最適な授業づくりに取り組む。 定期テストのオンラインでの返却などを活用して、生徒の現状を分析し指導改善に活用する。	アンケートによる肯定評価80%以上	学校アンケート等	12月			
豊かな心・健やかな体	心の教育の充実と体力の向上	道徳や人権教育を実施し、豊かな人権感覚を育てる教育を推進する。また、あらゆる教育活動の中で、生徒の自尊感情・自己肯定感を高められるよう集団づくりをすすめる。	●道徳の授業を確保し、すべての教育活動の中で豊かな人権感覚を育てる取り組みを実践する。	アンケートによる肯定率70%以上	生徒のワークシート 学校アンケート	12月			
			教科授業・学校行事・生徒会・部活動などを通じて物事を最後までやりきる達成感・達成感が得られるようにし、自尊感情を醸成する	「じぶんにはよいところがある」で肯定評価80%以上	学校アンケート等	12月			
		運動に親しむ環境を整え、食育と関連付けて体力の向上をめざす。	●学校行事に積極的に楽しく参加できる生徒の育成。特にいじめのない学校づくりに取り組む	経年比較昨年度より向上している	学校アンケート 実践報告等	12月			
			部活動等の機会を活用して運動に親しむ生徒を増やし体力の向上を図る。	経年比較昨年度より向上している	学校アンケート	12月			
学校独自の課題	新たな学校づくり	開かれた学校づくり	ホームページ・学校だよりなどを通して情報発信を行う。またオープンスクール等で学校の様子を公開する。	アンケートによる肯定率80%以上	学校アンケート	12月			
		カリキュラム改善	★小中の職員の交流を深め9年間を見通したカリキュラム改善に取り組む。	アンケートによる肯定率80%以上	学校アンケート	12月			
		学校群の課題に向けての取り組み	★教職員の業務の見直し、群内の効果的な人材・予算の活用や学校群で子どもの資質能力の育成を図る。	アンケートによる肯定率80%以上	学校アンケート	12月			

校長より(年度末)

学校関係者評価から(年度末)